



令和5年11月29日

# 12月 調布幼稚園だより



## 『表現することの意義』

園長 山形美津子

短い秋が足早に過ぎ去り、冬の到来を感じる季節を迎えました。子どもたちは、寒くても元気いっぱい園庭やグラウンドで体を動かして運動遊びを楽しんでいます。子どもは風の子ですね。

12月10日(日)は、4年ぶりとなる『表現ステージ』を行います。学園のご厚意により中等部・高等部の広い講堂をお借りして行います。子どもたちにとっては緊張の連続だと思いますが、成し遂げた喜びや自己表現できた自信は、一人一人の成長に大いにつながるものと確信しています。

『表現ステージ』は、2学期最後の大きな行事です。子どもたちの1年間の活動の集大成であると同時に、大切な学びのある舞台となります。『表現ステージ』の発表に向けて子どもたちがどのような練習を積み重ね、どのような努力をしてきたか等、子どもたちの学びの過程を保護者の皆様に各学年主任がお話をする機会を設けます。日取りは、年長組が11月30日(木)、年中組は12月1日(金)、年少組は12月5日(火)です。どうぞご参加ください。

今月号は、「表現することの意義」について考えてみたいと思います。昨年の12月に田園調布学園大学で佐伯 胖先生の特別講義があり、私も講義を拝聴しました。講義の内容は「学ぶとはどういうことか」という演題でした。「学び」について研究してこられた先生です。そのお話の中では「学びには、ひろがりと高まりがある」と述べていらっしゃいました。その「ひろがり」と「高まり」は、他者との対話や学び合いを通して深まるということです。

今回の『表現ステージ』は、踊り、劇、歌、合奏の発表ですが、いろいろな演目に出会い、新しいことをやってみることは学びのひろがりと言えると思います。それを練習する過程では、子どもたちが様々な対話や学び合いをしています。友達の劇を見て、「ぞうさんの動きが面白かった」「大きな声で言っていたからすごいと思った」「○○ちゃんの踊りが上手だった」等々、感想を伝え合ったり、褒め合ったりして、お互いの表現を高め合っています。次に練習する時には、友達が言っていたことを思い出して、さらに元気よくやってみようとか、もっと大きな声で言ってみようなどと意識して臨んでいることが学びの高まりと言えるのではないかと思います。自分が演じたことが他者にどう映っているのかを意識することは幼児には難しいことかもしれませんが、段々と自分を客観視できるようになってくるのも幼児期の成長の一つであると思います。

そのためにも幼児期の子どもたちが、自分の考えをしっかりと表現したり発表できる機会や場を作ることとはとても大事なことです。

さて、話題は変わり、11月には、年長組と年中組がそれぞれ遠足に出かけました。

年長組は池上本門寺の公園へ、年中組は洗足池公園へ行きました。年長組は電車を使って行きましたが、事前に先生から指導を受けたことをしっかり守り、安全に乗り降りをすることができました。

年中組は、洗足池までの距離を並んで歩くことがとても上手にできました。年長組は駅員さんにしっかりあいさつすることができました。年中組も途中で出会った警察の人に挨拶をするなど、公共のマナーも身に付いていて、とても好感がもてました。また、遠足でのお弁当の準備や片付けなどもスムーズにできて、成長したことを感じました。どちらの学年も秋の自然に触れながら、友達と一緒に楽しいひとときを過ごせました。

2学期が終わると約2週間の冬休みを迎えます。年末年始でもあります。ご家庭では大掃除をしたり、お正月を迎える準備をしたりと、大忙しだと思います。ご家庭の中では、小さな子どもたちにもできることがあると思います。年齢や発達に合わせてできそうなことを役割としてさせてみて下さい。親子の会話の時間も大事にして、新しい年を迎えるようにしてください。

また、お正月の挨拶やお正月のお料理のこと等、日本の伝統文化に触れる機会も多いことと思います。是非、日本の良さを伝えて欲しいです。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年、ご理解とご支援を頂きありがとうございました。

# 12月の目標

## 全学年

- 初めての場所での表現ステージを楽しむ。
- 北風の冷たさを感じたり、霜が降りている様子を見たりして冬の訪れを感じ、身近な自然に興味・関心をもつ。
- ダイコンや、カブ、コマツナ、シュンギク、ヒヤシンスなど、園内で育てているものに関心を持ち、生長を楽しみにする。
- インフルエンザ等の感染予防のため、手洗いうがいをしっかり行う。

## 年少組

- 身近な遊具や用具を使って、ごっこ遊びや廃材を使った工作を楽しんだりする。
- 思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。
- 一緒に遊んでいる友達と同じことをしたり、寄り添ったりして一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
- 寒さに負けずに戸外で、先生やみんなと一緒に体を動かして遊ぶことを楽しむ。
- お正月が来ることや、年末年始の過ごし方を知る。

## 年中組

- 身近な遊具や段ボールを組み合わせて、自分たちで遊びの場を作ったり、遊びに必要なものを作ったりして楽しむ。
- 友達との遊びの中で共感し合い、時には思うようにならないことを経験し相手にも思いや考えがあることに気付く。
- 伝承遊びや鬼ごっこ等体が温まる遊びを楽しみ、ルールのある遊びを通して、体を使って思い切り遊ぶ満足感や充実感を味わう。
- お正月遊びを通して日本の伝統文化に興味をもったり、年末年始の過ごし方を知ったりする。

## 年長組

- コマや縄跳び、ドッジボールなど、自分のめあてに向かって取り組む。また、友達とルールを考えたり、守ったりして一緒にかわり合って遊ぶことを楽しむ。
- 良いことや悪いことを自分で考えて、その場の状況を見て判断し、行動できるようになる。
- 新しい年を迎えるために大掃除を通して部屋を綺麗にし、一年の締めくくりという意識をもつ。
- お正月にまつわる話や、小正月を迎えるまでの体験を通して、日本の伝統行事に関心をもつ。

## 季節の歌 12月

顧問 外崎明美

### お正月



作詞 東 くめ  
作曲 滝 廉太郎

もういくつねると お正月  
お正月には 凧あげて  
こまをまわして 遊びましょう  
早く来い来い お正月

もういくつねると お正月  
お正月には まりついて  
追い羽根ついて 遊びましょう  
早く来い来い お正月



12月13日は「正月事始め」としてお正月の準備を始める日として江戸時代に定着したそうです。

今では、すす払いをしたり、家庭でお餅つきをしたりすることも少なくなっていると思いますが、玄関に正月飾りの準備をしたり、鏡餅を用意したり、年賀状を書き始めたりするご家庭もあることでしょう。

このような日本の伝統である正月行事をご家族の方がしている姿を見て、子どもたちはお正月を楽しみに待つことでしょう。

大人も心待ちにしている一年の初めのお正月。日本の伝統行事、伝統文化を子どもたちに継承していきたいものです。

大掃除は子どもたちも幼稚園で行います。子どもたちの中には、雑巾絞りに苦戦している姿があります。雑巾の絞り方、縦絞りの仕方を教えてあげるよい機会となりますようにと思います。

一年の埃を落とし、清々しい新年を迎え、普段なかなかできない凧揚げや羽根つきもご家族で広い場所で楽しんでみてはいかがでしょうか。

凧揚げは、風の向きに応じて自分が後ろに歩いていくことですので高く上がっていきます。「たこ」の歌にあるように、凧糸をどんどん出して高く揚げたり、風が弱まって糸が緩み落ちてきそうになったら、糸をくい引いたりしながら、凧が大空に高く、長く揚がるとよいですね。

『感じる力、考える力、そして行動を起こす力』が楽しくも緊張感のある「凧揚げ」を通して育ちます。

羽根つきも同様に落ちてくる羽根の位置を見定める『見通す力』、羽根を打つタイミングで動く『瞬発力』が育ちますし、大人は体力を使いますから、気持ちのよい汗を流せます。

楽しいお正月をお過ごし下さい。